

## 前のページより

ずに9時30分頃から来て楽しみに待っている方がいたそうです。また、「しあわせの日」開催は、ボランティアの方々の支援がなければ成り立たないとの話もありました。

予算が限られる中、前日から準備に取り掛かった温もりのある昼食（ちらし寿司）は、ボランティアの皆さんの「おもてなし」の気持ちが表れていました。



### 3. 二本杉茶屋 ー忘年会ー (第29B区：平成25年12月9日(月))

二本杉茶屋は北船岡集会所で月2回開催されており、今回は参加者23名、ボランティア8名及び町内会長の皆さんが集まりました。参加者は、ボランティアの皆さんが準備した菓子、果物、お茶を前に開会を待ち侘びていました。会は、ボランティアの大沼博子さんの大きな声・ジェスチャーで進行しました。オープニングは、テーマソング（「青い山脈」・「ああ人生に涙あり」）を唄いながらの肩の叩き合いと、手拭いを使っての柔軟体操で体を解しました。



レクリエーションは、色々なプログラムがありましたが、中でも、男性が「北国の春」を唄い、女性が手拭いを使っての体操、全員が合羽を羽織り三度笠を手に「潮来笠」の曲に乗っての踊り（体操）は圧巻でした。

佐久間幸助さん（101）は「毎日白石川の堤防を散歩、健康維持に努め、この会には毎回参加して楽しいひとときを過ごしています。」また、高橋たかみさん（95）は「ゲートボールを楽しんでいたが、手を痛め出来なくなった。今は、近所の友人と誘い合いこの会に参加しています。」と話していました。

ボランティア代表の佐藤正子さんは、「元気な姿・笑顔を見ると、これからも続けて行こうと思います。参加者が増えることを望んでいます。」との話がありました。

ボランティアの皆さん全員が、参加者と共に唄い・踊る様子に感動しました。

「いこいの日」関連事業は多くの行政区でも行われていますが、全行政区で世代間交流の一環として導入していければという印象を受けました。また、忙しく準備する大勢のボランティアの皆さんからは「高齢者は地域で守る」という心温まる思いが伝わりました。

なお、いずれの交流会も柴田町社会福祉協議会からの支援、協力を得て開催されています。

柴田町地域づくり支援員 本郷良治 大内 進

早いもので今年も2月に突入しましたね。立春といえども一年で一番寒い時期です。

草花たちも春に美しい花を咲かせるため、この寒さの中で一生懸命生きているのでしょう。

12日(水)からお雛様の展示が始まります。華やかで明るい雰囲気のご覧になって、一足早く春を感じてみませんか。

ゆる.ぷらスタッフ

#### (お問合せ先)

■しばたまち交流ひろば ゆる. ぷら  
(イオンタウン柴田内)

電話 86-3631 FAX 86-3641

eメール yurupura@town.shibata.miyagi.jp

開館時間 10:00~18:00

<2月の休館日:毎週月曜日>

■柴田町まちづくり政策課

電話 54-2111 FAX 55-4172



しばたまち交流ひろば

# ゆる. ぷら倶楽部



2014.2.1 ニュースレター第 43 号

## いろいろな雛人形展

皆さまからお借りした雛人形を多数展示します♪

● 展示期間： **2月12日(水)~3月2日(日)**



※写真は昨年の雛人形展の様子です。

### 期間中の体験会などのご案内

2月16日(日)  
10:30~12:30  
「北欧風小物入れ」  
参加費：1,000円  
定員：5名



2月22日(土)  
10:30~12:00  
「はなみちゃんの  
シャドーボックス  
キーホルダー」  
参加費：500円  
定員：10名



2月23日(日)  
10:15~12:15  
「プリザードフラワーの花かご」  
参加費：1,000円  
定員：5名



3月2日(日)はイベント開催!

10:15~12:30  
「はなみちゃんの  
木工細工の色付け」  
「はなみちゃん雛の  
飛び出すカード」  
定員：先着各30名(参加無料)



①13:00~ ②14:00~  
「フリゴレスの美味しい  
珈琲の淹れ方講座」  
参加費：100円  
定員：各10名



3月2日(日)まで  
「はなみちゃん雛のぬりえ」  
ゆる.ぷらで配布しています。



13:00~15:00  
「押し花のコースター、  
マグネット」  
参加費：各200円



※3月2日(日)にお手伝いして下さるボランティアスタッフを募集します。

# 1月のギャラリー展示の様子

## ◎【創作こけし&釜神様合同展】(1月7日～1月19日)



はなみちゃんやウサギ、自衛官やどんぐりなど珍しいこけし！



千葉正治久さんより

小さい頃から図工が好きで、展覧会等にはいつも出展しておりました。中学卒業後、鳴子のこけし屋に5年間修業をし、柴田町に住居を構えてから余暇を見つけては制作に励み、現在まで全日本こけしコンクールに3回入選しております。

柴田町の観光に手助け出来ればと思い、最近では“はなみちゃん”こけしを制作して現在に至っております。



中島陸朗さんより

作り始めて3年くらいになりますが、なかなか思うようにいかず、思い悩んでしばらく手が止まる事がありました。こうして展示会をしてみると我ながらよく出来上がったものだと思います。



この顔で睨まれたら気持ちが引き締まります！

## ◎【写真で綴る三名生児童館(幼児型)の歴史展】(1月21日～2月9日)



昭和44年度と平成25年度の修了児の皆さん



昭和44年～平成25年度の修了児の皆さんや運動会の写真などを展示



阿部和子さんより (三名生児童館館長)

45年間、1,388人の子ども達、そして保護者の皆さまとの出逢い旅立ちと様々な歴史が繰り広げられた三名生児童館。思い出を胸に新たなスタートにご期待ください。

## まちづくり推進センター情報

### 【地域づくり支援員レポート】

まちづくり推進センター（ゆる.ぷら）を拠点に地域支援活動をしている「地域づくり支援員」。その地域づくり支援員からの巡回レポートです。

地域におけるお年寄りの交流会は、住民どうしのつながりを強め、支え合う地域づくり活動の一つとして各行政区で盛んに開催されています。今回は、年末に開催された3つの行政区の交流会を取材しましたので、その様子を紹介します。

#### 1. 新栄ふれあいサロンークリスマス会ー（第11C区：平成25年12月25日（水））

転入者が年々増加している新興住宅地の第11C行政区の新栄ふれあいサロンは、対象年齢を70歳以上としています。男性ボランティアがサンタクロースに扮し、クリスマスのお楽しみ一杯の会場には参加者26名、ボランティア23名及び町内会役員の皆さんが集まりました。

会は、クリスマスツリー点灯式で始まり、クリスマスの歌の合唱、着席のままの屈伸運動・肩の叩き合い、ビンゴ大会、柴田町社会福祉協議会職員の指導による柔軟体操の後、クリスマスらしいお弁当で昼食を楽しみました。昼食後は、カラオケでのど自慢が披露され、閉会となりました。

参加者の中島みのるさん（93）は「日頃はテレビを観たり、新聞を読んで過ごしています。みんなと一緒にしゃべりすることが好きなので、

このような集まりは本当に楽しいです。」と笑顔で話していただきました。サロン実行委員会の富樫千津子会長からは「多くのボランティアの皆さんに協力をいただき、円滑に目的が達成されていることに感謝しています。苦労も多いが、継続できるよう皆さんと共に努力します。参加者は増加傾向にあるが、もっと多くの方の参加をお待ちしています。」との話がありました。



#### 2. しあわせの日ークリスマス会ー（第13区：平成25年12月14日（土））

白幡集会所において、参加者25名、ボランティア9名及び役員で開催されました。会は、折り紙でのクリスマスツリー作り（鋏を使用）、まちがい探しゲーム、手拭いを利用した体操、体・頭・手先の全身を使った体操（健康の秘訣かも？）、小旅行会時のビデオ鑑賞会（遠刈田ロイヤルホテルでの観劇会の様子）でした。プログラム進行中、高齢者をいたわり、明るく接するボランティアの皆さんからは温かい気持ちを感じられました。

出席した皆さんは、お楽しみクリスマスプレゼントを手に、次回「しあわせの日」を楽しみに、足どりも軽く帰られました。区長さんの話によると午前10時開会の時間を待ちきれ